

令和2年度 第13回

日南市教育委員会

会議録

令和3年2月22日(月) 午後3時から
南郷健康福祉センター

1 会議の名称 令和2年度教育委員会 第13回会議（定例）

2 会議日時 令和3年2月22日(月)
午後3時から午後4時まで

3 出欠確認

(1) 出席委員 都甲政文 郷谷純一 崎村洋子
黒木由香 別府信一

(2) 事務局 教育部長兼学校教育課長
生涯学習課長
学校教育課学校教育担当監
学校教育課長補佐兼管理係長
学校教育課長補佐兼教育係長
学校教育課管理係主査

4 場所 南郷健康福祉センター

5 傍聴者 なし

6 開会

【都甲教育長】

「それでは、ただいまから令和2年度第13回日南市教育委員会定例会を始めさせていただきます。よろしくお願いいたします。」

7 出席者及び傍聴者確認

【都甲教育長】

「出席者の確認をいたします。教育委員5名全員出席でございます。それでは事務局の方出席者の確認をお願いします。」

【甲斐部長】

「事務局も、全員出席です。」

8 活動報告

(1) 教育長活動報告

【都甲教育長】

- 1 / 28 (木) タブレット授業参観
教育研究所の森永教諭の授業があった。生徒も良くタブレットを使いこなしていて、効率的な授業がなされていた。一方、課題も見えて、ハード、ソフト両面で参考になるものであった。
- 2 / 3 (水) 校長会
フィードバックを通して、校長たちの学校経営に対する熱意が十分伝わり、感謝の気持ちで一杯であった。
- 2 / 4 (木) 日南市初任者研修会
初任者に対して、次年度へ期待を込めて向けて講話を行った。グループ協議も熱心に行われ、更なる成長に期待が持てた。
- 2 / 9 (火) 新春子どもの声を聴く会審査
コロナのために、今年度はビデオ審査で実施した。各学校の代表が、真剣な態度で発表し、審査にも力が入った。
- 2 / 16 (火) いのちの教育担当者会
いのちの教育の小4から中3までの内容がほぼ完成し、各学校の担当者を集めて研修会を行った。今後、日南市の教育の柱になっていく取組と感じた。学校の職員や保護者にも周知して、学校と家庭が一体となって取り組んでいきたい。
- 2 / 18 (木) 第3回社会教育委員の会
本年度の事業の総括と、来年度の補助金等について協議してもらった。今年度は、今後の成人式の在り方についても、意見をもらった。
- 日南市教育研究所閉所式
教育研究所と、外国語教育推進リーダーの閉所式を行った。夕方の勤務時間外等に集まって研究をしてもらって、成果を残してもらった。代表者の挨拶に、自分たちの資質の向上にもつながったとの言葉が聞かれた。この経験を、今後のキャリアにいかしてほしい。

2 / 18 (木) 22 (月) 新春子どもの声を聴く会表彰

小学校と中学校の最優秀賞者に、賞状を授与するために学校を訪問した。2名から原稿の内容等について実際に話を聞くことができ、賞賛の言葉もかけることができた。

2 / 19 (金) 南那珂育英会理事会

コロナの影響で、今年度は書面での審査等で済ませてきた本会も、次年度へ向けて会議を実施した。次年度、取り組むべき課題も出されたので、串間市と調整しながら課題の解決に取り組んでいきたい。

教育研究論文表彰式

今年度は57編の応募があり、その結果、最優秀2編を始め、優秀優良、学校賞と合わせて14編の表彰を行った。1年間の実践を振り返り、資質の向上の上でも論文を書くことは意義があるので、次年度以降も多くの論文応募があるよう働きかけていきたい。

9 前回の議事録承認

第11回の議事録について了承

10 議題について

協議1 本年度の実績と次年度の計画について

(濱中補佐)
(都甲教育長)

本年度の実績と次年度の計画について説明。
何か、質問、ご意見等がありますか。
では、来年度はこの計画でいきたいと思います。

協議2 学校活性化について

(高妻補佐)
(崎村委員)

学校活性化について説明。
推移をみていると、大堂津小学校と細田小学校はそんなに変化はないと思いますが、一番心配なのは、大窪小学校だと思います。最終的に0人になるのを待つという感じになると、その間、全校生徒が1人や2人になったりした場合、子どもたちの教育が心配になるとと思います。細田地区の全体的な意見としてこのままがいいとい

うのは分かるのですが、大窪小学校の代表の方はどう思っているのかなというのが心配です。

(甲斐部長)

私たちも、大窪小学校が少ないというのは認識しておりましたが、大窪小学校のPTA会長さんが言われたのは、大窪には大窪の良さがある、小さいながらの良さがあるということで、しばらくはこのままにしておいてほしいというのが、大窪小PTA協議会の話ということでした。

ただ、今言われたように、今後少なくなるということは分かっているつもりだったので、その時にまた、そういう話ができるシステムがあるといいなということでした。

(崎村委員)

私は、吉野方小学校出身で、吉野方小学校の廃校の時に卒業生として出席をさせていただきましたが、その時の子どもたちの発表の中で、「地域の方と保護者の方が自分たちの将来を考えてこのような決断をしてくれたことに感謝する」ということを言っていました。ただ、卒業生としては、なくなるのは寂しいということと、地域としても学校がなくなると地域の行事もなくなってしまうので、残念だと思ふ気持ちもあると思いますが、子どもたちの将来を考えた時に、もう少し思いをはせてほしかったと思います。

(甲斐部長)

事前に会議を行う時に、通常今まで廃校したところについては、地域がまとまってそういう意見があったと、ただ、大窪については、まだ今のままがいいというお話しでした。2、3年後になるかも知れないけど、それまでは今のままでいかせてほしいということが結論としてなったところです。

(黒木委員)

私も、子どもが大堂津小学校にいて、こういう問題が多年に渡って話があって、大堂津、細田、大窪それぞれで地域性があったりして、場所的にも通学の問題があったり、大堂津も津波の避難所があったりするんで、細田に行くといいなという意見もあったりしましたが、まず、小中一貫のメリットがないので、息子が細田中の1年生でテニス部ですが、来年は新入生がいないので団体戦にも出れなくて、部活動にも支障が出て、小中一貫にしても中学生の人数は増えないわけで、中学生に対してのメリットがあまりなくなってくる、通学の問題もある、なかなか一つになれないところがあって、大窪、細田は運動会を合同でしたり、小学校の修学旅行も3校で行ったりして、その都度、必要な時は集まったりしているので、その方がいいよねという一気に意見がまとまりづらいところがあります。それだったら、南郷や吾田に行くというような、個人個人の意思で動く

	<p>ような形に今なっているので、その方が居心地がいいというか、やりやすいというか、なかなか難しいのではないかと、中にいて思うところです。</p> <p>やはり、地域でそうしようという気持ちにならないと難しいなと思いました。</p>
(甲斐部長)	<p>最後のまとめのところで、将来的には一緒にならないといけないだろうなという共通認識はありました。</p>
(黒木委員)	<p>私も、まだ細田地区にいますので、声かけをしながら、少しでもいい方向になるように、話を続けていけたらいいなと思います。</p>
(都甲教育長)	<p>みなさんが考えるきっかけになったという意味では、意義があったと思います。これから先、皆さんが意識して行ってまた意見が出てきて、一緒に考えていくということになると思います。</p>

協議 3 予算(令和 3 年度当初予算・3 月補正予算)について

(甲斐部長)	<p>予算(令和 3 年度当初予算・3 月補正予算)について説明。</p>
(宮口課長)	<p>予算(令和 3 年度当初予算・3 月補正予算)について説明。</p>
(都甲教育長)	<p>何か、質問、ご意見等がありますか。</p>

1 1 その他

- (1) 3 月行事予定について
- (2) 第 1 4 回 教育委員会会議 (臨時)
 - ① 日時 令和 3 年 3 月 15 日 (月) 午後 3 時から
 - ② 場所 日南市役所・第 2 南別館 1 階会議室 (教育委員会庁舎 1 階)
- (3) 第 1 5 回 教育委員会会議 (定例)
 - ① 日時 令和 3 年 3 月 23 日 (火) 午後 3 時から
 - ② 場所 日南市役所・第 2 南別館 1 階会議室 (教育委員会庁舎 1 階)

1 2 閉会